

## 学校経営推進費評価報告書（最終）

### 1. 事業計画の概要

<b>学校名</b>	大阪府立野崎高等学校 全日制の課程
<b>取り組む課題</b>	生徒の自立支援
<b>評価指標</b>	1 中途退学率の減少 2 進級卒業率の向上 3 学校教育自己診断における生徒の入学満足度の向上
<b>計画名</b>	野崎高校生徒 全員 Light Up! 作戦 ～生徒一人ひとりがスポットライトを浴びて主役になれる舞台づくりにより、自尊感情に Light Up!～

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

<b>学校経営計画の 中期的目標</b>	3 高校生として必要な規範意識や社会性、人権尊重の精神等の育成に努め中退防止を図るとともに、すべての生徒が安全・安心に生活できる学校づくりを推進する (2) 人権教育や総合的な学習の時間等の取組みを充実させ、他人を思いやる豊かな心や人権尊重の精神の育成を図る。 (3) 学校全体で生徒のコミュニケーション力を向上させる取組みを充実させるとともに、部活動、生徒会活動を活性化し、自立心や主体的に行動する態度を養う。 ※ 平成 30 年度までに生徒の卒業率を、5%向上させる。 ※ 平成 30 年度までに学校教育自己診断の「学校へ行くことが楽しい」「担任以外に相談できる教員がいる」の項目を 70%以上にする。
<b>事業目標</b>	「生徒一人ひとりを大切にする学校」として生徒全員の自己実現を支援するため、これまでに実践している学力向上・進路実現の取組みに併せ、学習意欲・進路実現意識の土台となる自尊感情のさらなる育成を目標とする。そのために、生徒主体の学校行事の更なる推進を図る。 具体的には、体育館舞台における舞台・照明・音響等の設備を充実させ、生徒が文化祭や総合的な学習の時間等における舞台発表へ向け意欲的に取り組みやすい環境を整える。演出・キャスト・照明・音響など、舞台発表の際に必要な役割の多様化・明確化を図ることで、舞台発表に取り組む生徒集団に自己決定・集団決定の機会を与え、自治を実感させる。 行事の成功という共通目的を達成するために生徒一人ひとりが自らの役割を「自律」的に担い、他者との協働により「自主」性を養い、「創造」的な行動力を高めるための仕掛けをすることにより、生徒の自己有用感・自己肯定感の向上を図る。行事を通して生徒の「挑戦することができた」「他人の役に立った」「他人に喜んでもらった」という経験を促し、実社会につながる学びの機会を与えることで、生徒の学習意欲・進路意識の向上を図り、自己受容・自己決定に基づく進路実現につなげる。(校訓「自律」「自主」「創造」) ※ 生徒の卒業率を毎年3%向上させるとともに、学校教育自己診断における生徒の入学満足度を毎年2%向上させる。
<b>整備した 設備・物品</b>	ホリゾン幕 1、張り出し舞台 1、調光操作卓 1、DMX 信号分配器 1、DMX 信号ケーブル 1、LED スポットライト 11、LED スポットライト用スタンド 11、2分岐ケーブル 1、ブレーカー付き変換ケーブル 4、延長ケーブル 28、LED フットライト（ロアーホリゾンライト兼用）8、LED フットライト用電源亘ケーブル 7、LED フットライト用 DMX 信号亘ケーブル 7、ポーター

	ライトコントロール用コネクターボックス1、コンセントボックス1、ボーダーライトコントロール用リモコンスイッチボックス1、ボーダーライト用制御ケーブル1
<b>取組みの 主担・実施者</b>	前年度まで主担としてこの事業を展開してきた「Jump Up! PT」（首席2名及び教職経験5年以上10年以下の教員24名の計26名、うち10名は運営委員会に所属）を解散し、今年度からは、首席（2名）と生徒指導部（生徒会係を含む）、総合的な探究の時間とLHRの再構築を目標とした「LSnap検討チーム」が担当している。
<b>本年度の 取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「LSnap 検討チーム」の会議を12回実施し、次年度の総合的な探究の時間とLHRの内容を検討しスケジュールを作成した（通年）。</li> <li>② 各式典・行事などで Horizont幕を使い、プロジェクターを活用した運営や説明・発表を行った（通年）。</li> <li>③ 新入生向けクラブ紹介において、部活動生徒によるダンス・太鼓・軽音楽ライブの舞台発表（4月）。</li> <li>④ 体育大会前に生徒リーダー研修を行い、応援団活動に活用できるコミュニケーションワークを行った（9月）。</li> <li>⑤ 文化祭舞台発表クラス・団体に対する照明・音響講習会を実施した（11月）。</li> <li>⑥ 文化祭において、教員劇によるデモンストレーションを行った（11月）。</li> <li>⑦ 文化祭での生徒舞台発表（11月）。</li> <li>⑧ 中学生向け体験入学会における、部活動生徒によるダンス・軽音楽ライブの舞台発表（11月）。</li> <li>⑨ 人権講演会で世界的大道芸パフォーマー（11月）と、ラッパーによる講演会（2月）で照明・音響設備を活用した。</li> <li>⑩ スマホサミットの報告を2学期終業式で参加生徒が発表した（12月）。</li> <li>⑪ 東百舌鳥高校の生徒会メンバーへのコミュニケーションワーク研修に本校教員3名が見学に行き、ノウハウを学んだ（1月）。</li> <li>⑫ ⑪における東百舌鳥高校教員2名を外部講師として招き、ピア・サポート理念による「コミュニケーションワーク研修」教員研修を行った（2月）。</li> <li>⑬ 生徒会主催の「卒業生を送る会」を照明装置や Horizont幕、プロジェクターを活用して行った（2月）。</li> <li>⑭ 生徒リーダー研修に生徒会・部活動所属生徒を中心とする生徒27名が参加し、コミュニケーションや課題達成に関するグループワークを体験した（3月）。</li> </ul>
<b>成果の検証方法 と評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中途退学率を前年度比3%減少させる。（平成27年度4.7%、平成28年度4.8%、平成29年度8.8%）</li> <li>② 第1学年における進級率を前年度比3%向上させる。（平成27年度86.3%、平成28年度86.7%、平成29年度78.8%） 第2学年における進級率を前年度比3%向上させる。（平成27年度88.2%、平成28年度89.4%、平成29年度85.4%）</li> <li>③ 卒業率を前年度比3%向上させる。（平成27年度95.7%、平成28年度96.4%、平成29年度94.3%）</li> <li>④ 学校教育自己診断における「学校へ行くことが楽しい」を前年度比2%向上させる。（平成27年度66.2、平成28年度66.3%、平成29年度65.5%）</li> </ul>
<b>自己評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中途退学率は3.3%であった（前年度比-5.5%）。……………（○）</li> <li>② 第1学年の進級率は86.1%であった（前年度比+7.3%）。……………（○） 第2学年の進級率は87.8%であった（前年度比+2.4%）。……………（△）</li> <li>③ 第3学年の卒業率は98.4%であった（前年度比+4.1%）。……………（○）</li> <li>④ 生徒向け学校教育自己診断の「学校へ行くことが楽しい」は66.2%であった（前年度比+0.7%）。……………（△）</li> </ul>

<p>事業のまとめ</p>	<p>2年間の Jump Up! PTでの実践を引継ぎ、今年度は首席・生徒指導部（生徒会係を含む）が中心となって活動し、生徒の自尊感情を高めるための取組みが定着してきた。</p> <p>生徒会が中心となった生徒主体の委員会活動や行事運営ができたことにより、文化祭のクラス企画では演劇を奨励することになった。その結果、8クラスが劇やダンス、歌と踊りを取り入れるなどの多彩な内容が企画され、張出舞台や舞台装置を効果的に活用することができた。また、中学生向けの体験入学会やPTA行事においても、複数のクラブが舞台発表の機会を得ることができ、発表したクラスや部員の自尊感情を高めるだけでなく、観ている生徒や保護者の心も豊かにしてくれた（生徒学校教育自己診断「文化祭は楽しい」平成29年度76.9%→平成30年度82.0%=+5.1%、教職員学校教育自己診断「本校は生徒会活動を通じて生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」平成29年度68.9%→平成30年度87.2%=+18.3%）。</p> <p>これらの取組みを継続して行くことにより、生徒の行事満足度・学校生活満足度を高め、進路実現率の維持向上、進級率・卒業率の回復上昇をめざす。</p> <p>同時に、令和4年度の新学習指導要領実施を見据え、「育てたい生徒像」を基軸としながら運営委員会やカリキュラム委員会、または新たなPTにより、3年間を見通した授業内容の検討とカリキュラム全般の見直しに着手する。また、総合的な探究の時間や学校行事に関連する特別活動もカリキュラムの一部としてとらえ、多面的・多角的に生徒の自尊感情を高めるためのコミュニケーションワークやピア・サポートなどのプログラムの導入も含めて、「LSmap 検討チーム」が作成した計画を次年度から実施していく。</p>
---------------	--